



## 評価機関による評価



令和2年2月14日



### 事業所名 あっぷるキッズ青葉台

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある


#### 評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重


評価分類	評価の理由（コメント）
<b>I-1</b> 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育方針は、「豊かな心、人を愛する気持ちを育てる」「遊びを通してたくましい心と身体をつくる」「夢をもって感動する心を育てる」となっており、子どもの人格を尊重しどのように育てほしいか、どのように支援すればよいかを考慮したものとなっています。</li> <li>・保育理念や保育方針は設置法人共通で、採用時に研修を受けるほか、職員の年齢層が若いことから、園長は、保育理念に込められた思いを理解出来るように、機会を捉えて具体的な事例で説明するようにしています。</li> <li>・保育理念や基本方針に基づいて全体的な計画を立て、年間、月間、週案の各指導計画を作成しています。子どもの日々の成長の様子を見ながら支援の方法について職員会議で話し合い、期末には職員全員で振り返りを行っています。</li> <li>・全体的な計画は、入園時に説明するとともに、変更した場合はクラス懇談会や保護者会で説明し、欠席者には手紙を出して周知しています。</li> <li>・指導計画は、子どもたちの意見やアイデアを取り入れて運用できるように余裕を持たせ、子どもたちの「何をして遊ぶの」「どうやってするの」「結果はどうだった」「こんどはどうしよう」などの発案を大切にしています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回程度、担任の職員に代って他のクラスの職員が保育を行い、新しい目で振り返り職員会議などで気づいたことを話し合って情報を共有し、保育に生かそうとする取り組み(あっぷる DAY)を行っています。</li> </ul>
<b>I-2</b> 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時の面談表、児童家庭調査書、児童保健調査表などから子どもの情報、生育歴や家庭の状況、家族構成などを把握し、これらを児童票ファイルにまとめ、園の新しい環境の中でその子どもに合った対応が出来るよう話し合っています。</li> <li>・1、2歳児までは、連絡帳で毎日の保育の様子や家庭での情報を記入し連絡を取り合い、3歳児以上は、出席ノートに保護者への連絡事項をメモにして貼付し、連絡漏れがないようにしています。また、各クラスのクラスボードに、毎日、ねらいや今日の主活動を書き込み、保育の様子を伝えています。</li> <li>・在園児の担任は、原則として持ち上がりで、進級後の様子や家庭での変化などを保護者と話し合いながら必要に応じ個別に配慮しています。</li> <li>・各指導計画は、クラス会議（主担と副担任）で話し合い、主担会議（園長、主任、主担）で評価し、次期の計画に繋げています。</li> <li>・クラス懇談会や個人面談の意見のほか、送迎時の会話の中から食事やトイレトレーニングなどの子どもの成長に関する情報を参考にして職員間で話し合って指導計画に反映しています。</li> <li>・1～3歳未満児は、自分で好きな玩具を取りだして友達や職員とゲームをしたり、着替えを持ち出して服を脱いだりたたもうとしています。職員は子どもたちの自分でやってみようとする気持ちを受け止め、そばについて出来ないところを援助しています。</li> <li>・職員は、遊びの順番や玩具のことでトラブルになり噛み付きや引っ掻きがみられる場合、子どもをしっかり見守りながら他の玩具を見せて気分を変えています。2歳頃からは、子ども同士のやりとりを見守り、相手の気持ちを代弁し仲直</li> </ul>




	<p>りできるよう仲立ちしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児は公園での鬼ごっこや、雨の日には室内で衣装を着けてマイクを持って好きな曲に合わせてダンスの練習をしています。職員は、興味のある活動をしているときは見守りながら遊びの幅が広がるように関わっています。</li> <li>・4、5歳児は、ゲームやボール遊びなどルールを守って集団で活動することや打楽器をたたいてみんなでリズムを刻む事を経験しています。また、生活発表会の役柄や運動会の種目なども自分の意見を発表し合って、みんなで協力しながら行事を進めています。</li> <li>・公園では、凧あげ、鬼ごっこ、縄跳びなど夢中になって体を動かせる遊びを用意し、室内では、体操教室の講師による、マットや鉄棒、跳び箱など子どもたちの体力に応じた運動をしています。</li> <li>・全体的な計画や5歳児の指導計画の中には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識して、人や環境との関わりを持ち、生活習慣を身につけ健康に関心を持つこと、文字や数字に興味を持って思いを言葉で伝え音楽や自由な表現を楽しむこと、また、ルールを守り友達と協力し新しいことに取り組むことなどを経験していけるよう配慮しています。</li> </ul>
<p><b>I-3</b> 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃マニュアルに従って毎日、保育士と用務員が園の内外を分担して清掃し、チェックリストに記録しています。また、食後、午睡後、おやつの後にも清掃しています。</li> <li>・毎朝、早番職員が窓を開けて換気し、散歩や戸外活動の間も窓を開け、各保育室は、24時間換気扇が稼働しています。トイレも毎日清掃と消毒をして清潔な状態が保たれています。</li> <li>・室内での職員の話し声や音楽の音量は、必要な程度に抑え、穏やかな話し方を心がけていますが、声の大きさやトーンが気になる場合は、お互いに声をかけ合っています。また、園舎のすぐ横を国道246号線が通っていますが、窓を閉めれば、車の騒音はほとんど聞こえず、園での生活に支障はありません。</li> <li>・1、2歳児の保育室は、コーナーを設けたり、遊びの内容によってパーティションで区切ってカーペットを敷いたり小さなテーブルを置いて少人数で落ち着いて遊べるような環境を整えています。</li> <li>・1歳児クラスは、食事のペースに個人差が大きいいため、食事と午睡のスペースを分けています。その他のクラスは、食事後に掃除をして午睡の場所を確保しています。</li> <li>・エントランスには玩具や絵本が用意され、異年齢交流の場所となっています。3～5歳児は人数が少なく1つのクラスで縦割り保育を実施していますが、3歳児は4、5歳児の様子に興味深く眺めてまねをし、4、5歳児は3歳児に遊びやゲームを教えたり手助けをして、触れ合いながら過ごしています。</li> </ul>
<p><b>I-4</b> 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2歳児は月間指導計画に沿って、一人一人の発達に応じて個別指導計画を作成しています。特に配慮が必要な場合は、幼児についても個別支援計画を作成し、療育センター見学の様子や友達との関わりが増え遊びを楽しむようになったことなどは個別日誌に記録して、計画の参考にしています。</li> <li>・今年度初めて5歳児を受け入れ、保育所児童保育要録を小学校に送付したことはありませんが、障がいのある5歳児が在籍しており、就学先の小学校の先生が来園し、受け入れ後の対応や配慮などについて打ち合わせをしています。</li> <li>・入園後は、毎月、身長・体重を計測して健康記録表に記録し、心の育ちの様子は成長経過に記入しています。成長経過は、毎月、全員の食事、排泄、睡眠、安全、運動、言葉など生活全般に渡る項目について結果を◎、○、-の記号で記録しています。</li> <li>・進級時に担任が代わる場合は、入園時面談表、児童家庭調査書、児童保健調査表、健康記録表などの児童票ファイル関係書類により新担任と引き継ぎを行っています。転園の場合は、配慮を要する子どもの場合など必要があれば書類の送付や引き継ぎをしています。</li> </ul>



<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関はバリアフリーになっており3階屋上園庭までエレベータがあり、トイレも車椅子での使用が可能です。アレルギーのある子どもや障がいのある子どもなど配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。</li> <li>・障がいのある子どもの研修や、青葉区こども家庭支援課や横浜市北部地域療育センターなどからの障がいの特性に関する情報を得て、子どもへの対応や配慮について主担会議や職員会議で話し合っています。</li> <li>・職員は、虐待の内容、チェック方法、対応、連絡などについて周知し、虐待が明らかになった場合は、横浜市北部児童相談所や青葉区こども家庭支援課に通告・相談する体制が出来ています。家庭支援が必要な場合は、送迎時の保護者との積極的な会話や面談の機会を設けるなど、予防や早期解決ができるよう信頼関係を築くことを考えています。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもと原因となる食材等について一覧表を作成し、年度初めやアレルギー症状に変化がある場合に、職員に周知・徹底しています。また、湿疹など疑わしい症状が出た場合は写真撮影して保護者に伝えています。</li> <li>・除去食の配膳は、調理士と職員が食材について確認し合い、名札をつけた専用トレイで最初に行っています。職員は傍について誤食がないよう見守りながら、子どもたちの動線にも気を配っています。</li> <li>・外国籍や文化の異なる子どもを受け入れる場合は、入園前の面談で、文化、生活習慣、食事などについて聞き、日本の習慣を押しつけないよう配慮し、子どもたちには、世界には多くの国があることを絵本などで話しています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもとの関わりでは、お互いの気持ちをくみ取って仲立ちし見守りながら援助しています。その結果、入園時は、新しいことに対してパニックを起こしたり、一緒に食事をする事が出来なかった子どもが、体操教室や食育の行事にも楽しみながら参加できるようになりました。</li> </ul>
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時の説明会で、苦情受付担当者（主任）と解決責任者（園長）が決まっていること、第三者委員に直接苦情の申し立てが出来ることや、第三者委員の氏名・連絡先を重要事項説明書で説明しています。第三者委員はこの地域の方で、クリスマス会など園の行事にも参加して保護者と面識があります。</li> <li>・玄関に意見箱を設置し、行事後や年度末に保護者アンケートを実施し、クラス懇談会や個人面談の際にも保護者の要望や意向の把握に努めています。</li> <li>・自分で意思表示ができない子どもについては、遊んでいるときの表情や「何をしたい」「どうやってみたい」などの会話から要望を推測し、保護者に対しては、担任以外の職員でも話しかけやすい雰囲気を作るよう、積極的に声かけをしています。</li> <li>・外部の権利擁護機関の苦情解決窓口についての説明文書やポスターの掲示は、ありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情の解決手段として、園内の苦情受付窓口や第三者委員に相談するほか、外部の権利擁護機関に苦情の申し立てや仲介が出来ること、および連絡先を紹介しておくことが望まれます。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容


評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの意見を大切にし、コーナー遊びを充実させるように取り組んでいます。おもちゃ棚を設置し、自由におもちゃを取りだせるよう配慮しています。棚には、おもちゃの写真を貼り付け、子どもがおもちゃを選びやすいよう工夫しています。絵本についても、表紙を見せて収納し内容が判り易く取り出しやすいようにしています。</li> <li>・デイリープログラムでは一斉活動に偏らないよう配慮しています。登園したら、天気の良い日には早めに散歩に出かけ、外での遊びの時間を十分とるように</li> </ul>


	<p>しています。公園では自由な探索を中心に活動しています。朝、夕の自由時間には自由遊びができるよう時間を取っています。制作途中の工作物などを保管することができ、続きができるように配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこでは子どもが自由にルールを作る、また身近にあるものを利用して子どもの提案でアイス屋さんごっこやお茶屋さんごっこなどを楽しんでいます。</li> <li>・子ども主導型保育（ハイスコープ教育）を取り入れ、子どもが何をやりたいかを自分で選択・決定するよう日頃から促しています。遊びが見つからない様子の子どもには、保育士が声をかけてほかの子どもとの仲立ちをしたり、身近なものに注意をむけるように促したり、一緒に遊んで遊び方を示すなど工夫しています。</li> <li>・公園への散歩から季節を感じ、探索活動により自然に触れるようにしています。また、散歩中に駅やバスターミナル、消防署などを通る際には、保育士が子どもの興味に応じて、説明したり観察のヒントを与えたりしていました。</li> <li>・想像力を働かせた見立て遊びでは、ブロックで作った杖を持って、高齢者の真似をしたりすることもあります。公園では、落ち葉を集めてケーキを作る、木の枝で地面に人の顔の絵を描くなど自由に体を使って遊んだり、散歩の際に歌を歌ったりしています。また、制作遊びのときには、職員が文字を書いて見せて自然に興味を持たせるようにしています。</li> <li>・異年齢の関わりを大切にしています。月1回の全体集会、夏休みの合同保育の他、散歩や公園で一緒に遊ぶ、他の保育室にお邪魔するなどしています。少人数の園のため、子ども同士が顔や名前をお互いに知っており、5歳児が1歳児の世話をする様子が見られます。</li> <li>・子どもたちに常に公平で温かい態度や言葉遣いで接するよう、職員会議で毎月「こんな言い方をするといいね」など「ニヤリ・ヒヤリハット」などを参考に話し合っています。</li> <li>・子どもの体調や気温に応じて積極的に戸外活動を取り入れています。天気の良い日には午前中の早い時間から散歩に出かけ、公園の広場や遊具を利用し身体を使う遊びを積極的に取り入れるようにしています。事務所の掲示板には行き先を掲示し、子どもたちは水筒持参で出かけます。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニヤリ・ヒヤリハット」に子どもたちのさまざまな場面を記録しています。事故に繋がりそうな危ないこと（ヒヤリハット）だけでなく、子どもたちのほほえましい、思わずほっくりするような姿（ニヤリ）を記録して振り返り、こども同士の関係や職員との関わりについてどのようにすればよいか話し合っています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－1</b>  <b>保育内容[生活]</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューや子どもの体調、個人差などを考慮して、盛り付けの量を子ども一人一人について食べきれるように加減し、園での食事が楽しくなるように配慮しています。特に、苦手な食べ物は無理強いせず、食べることができたら褒めながら進めています。料理を出す順番を工夫し、食事が進むように工夫しているクラスもあります。</li> <li>・食育計画を作成し、年齢に応じて進めています。給食を業務委託している先の管理栄養士作成の食育計画に沿って2歳児から、野菜の洗いや皮むき、ケーキ作り、魚の解体なども行い食材についての関心を育てています。また、4、5歳児はメニューによってピュラーや包丁も取り入れています。</li> <li>・横浜市の契約農家の紫サツマイモやバターナッツかぼちゃを食材に使う、国内産米を使用するなど安全な食材を使用するように努めています。</li> <li>・1歳児はスプーン、2歳児はフォーク、3歳児後半からは箸を使用するように進めています。1、2歳児の場合は、料理や食材によってすくいやすい深さのある形状のものを使うなど、子どもに適した食器を使用しています。</li> <li>・給食業務委託先の管理栄養士は子どもの食事風景を確かめています。特に4月、5月にはこまめに食事の様子を確認し、給食に慣れているかを確認しています。</li> <li>・年1回保育参加の際に試食会を行い、保護者が子どもと一緒に食べることができます。試食会の献立はレシピを配付し、管理栄養士と調理師が味付けや栄養素</li> </ul>

	<p>について保護者の質問に応じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・眠れない子どもには、寝ている子どもの妨げにならないよう静かに休息して待つよう声をかけています。1歳児で早く起きてしまった子どもは、1階のエントランスで保育士と一緒に静かに遊んでいます。2歳児以上は、横になったまま体を休めていたり、カーテンを少し開けた場所で、絵本を読んだりしています。</li> <li>・トイレトレーニングは子ども個別の発達状況に応じて進め、子ども一人一人の様子や気持ちを確かめ誘導したり声をかけたりしています。保育園での排泄の様子を保護者に伝え、また家庭での様子も聞くようにし、保護者の意向も確かめ連携して進めるようにしています。</li> <li>・保育室にコーナーを設けて、自分のやりたい遊びができ、ゆっくり過ごすことができる空間づくりに努めています。延長保育では少人数でゆったりと過ごすことができるような環境にしています。ぐずっている子どもがいた場合は個別の関わりを持つようにしてフォローし、スキンシップも大切にしています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理、感染症、衛生管理、嘔吐処理、園内清掃について、園のマニュアルを作成しています。入園時に、児童票、健康カードへの記載で、既往症などを把握しています。また、予防接種の記録も追記しています。1、2歳児は家庭と園との連絡帳で、食事、睡眠、排泄、健康などを把握し、登降園時に保護者と直接話し日々の健康状態を確認しています。3歳児以降はボードに貼り付けたメモに連絡事項を書き、保護者に渡しています。</li> <li>・年2回の嘱託医による健康診断・年2回の嘱託歯科医による歯科健診の結果を一人一人の健康カードや個人記録に記載しています。診断に先立ち保護者からの質問をあらかじめ聞き、医師からの回答をもらい、保護者に伝えています。</li> <li>・感染症についてのマニュアルがあり、それに基づいて対応しています。保育中に子どもが発熱や嘔吐など感染症の疑いのある症状が出た場合事務室などに隔離し、保護者には速やかに連絡しています。電話の際には、子どもの症状について伝えています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理のマニュアルを作成し、不定期ではありますが見直しています。変更は昼礼などで職員に伝え、事務所と各クラスに記録を残しています。</li> <li>・清掃担当の職員がマニュアルに沿って清掃し、掃除確認表でチェックしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理に関するマニュアルは、定期的に見直しを行うとともに、全職員が統一的な対応を行えるよう、定期的な研修を実施することが期待されます。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の安全管理マニュアルを作成しています。</li> <li>・乳幼児突然死症候群予防の対策として、午睡時に1歳児は10分おきに呼吸を確認してSIDSチェック表に記録しています。2歳児以上は顔が見えるように一人一人確認しています。</li> <li>・プールや水遊びは、監視の保育士を必ず1名配置しています。監視役の保育士は「監視」と書かれたベスト（ビブス）を着用し、子どもたちにもわかるように工夫しています。</li> <li>・地震対策として、棚は壁に固定したり、背中合わせにしたりしています。</li> <li>・事業継続計画（BCP）を作成し「災害時職員参集可能時間」などを事務所に掲示し、緊急時に備えています。</li> <li>・毎月の火災、地震の避難訓練、消防訓練、年2回の不審者対応訓練、119番通報訓練を実施し、非常用持ち出し袋や散歩バッグ、ウエストポーチの中身リストの作成・点検も行っています。訓練後は職員会議で振り返りを行っています。</li> <li>・保育中のケガは主任・園長に報告し、保護者に伝えています。首から上のケガは受診しています。事故やヒヤリハットは、事故報告書、ヒヤリハット記録簿に記入しています。改善策や園長意見も記入し、振り返っています。</li> <li>・園の玄関は必ず施錠し、インターホンで確認後に開錠する仕組みです。お迎えはあらかじめ届けた方のみとし、ICカードを発行しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－３</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに対して肯定形で話す、呼び捨てにしない、命令形はやめる、伝えたい</li> </ul>



<p>人権の尊重 </p>	<p>ことは明確に、大きな声を出したりせかしたりせず子ども自身で気づくよう穏やかに話すなど言葉や伝え方を考えて話すようにし、職員間で「職員資質向上マニュアル」などで振り返っています。虐待については任意研修に参加しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋の片隅、事務所の奥のスペースなど一人になれる場所を作っています。ただし、安全面を考えて死角とならないようにしています。おもらしをしたときはトイレで着替えたりし、羞恥心に配慮しています。</li> <li>・「個人情報保護規定」を作成し、全職員に周知しています。個人情報に関するデータは事務所内の鍵のかかるキャビネットに保管し、保護者には重要事項説明書で説明しています。個人情報を含む書類を園外に持ち出すことを職員に禁じています。職員に対して、ブログなどに業務の書き込みもしないよう職員会議で説明し、同意書の提出を受けています。</li> <li>・園のホームページへの写真の掲載を拒否する場合は、園に届ける必要があることを保護者に説明しています。</li> <li>・順番、グループ分け、整列などを性差により決定することはありません。無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みがこれまではありませんでした。今後は、ひな祭りや子どもの日などの行事の進め方について検討していく方針です。</li> </ul>
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の保育方針、保育目標を、年２回の保護者会で園長が説明しています。毎月の園だよりでは、園長が園の様子やその時々話題や課題に触れ、園の保育方針を保護者に示し、理解を得るようにしています。</li> <li>・登園時には家庭での様子を聞き、降園時には園での様子を伝えています。保育室の入り口にその日の主活動を掲示しています。お迎えの際に担任が不在で保護者に連絡する必要がある場合は、電話をかける都合の良い時間を、遅番の職員が保護者に確認しています。</li> <li>・保護者からの面談は随時受け付け、まずは担任が対応しています。内容により主任や園長などとの面談となることもあります。面談内容は、関係する職員間に周知する、主任や園長に報告・相談し助言を仰ぐなどしています。</li> <li>・クラス懇談会ではクラスの現在の様子、今後のクラス運営などを説明し、さらに各年齢の特徴などを伝え、保護者からの質問の時間を設けています。また動画を使い、絵本の読み聞かせなど保育内容を保護者に紹介しています。クラスだよりでは、人気の絵本、前月のクラスの様子などを写真をまじえて紹介しています。</li> <li>・一年間の行事の予定は、年度初めに年間行事予定表を保護者に配付し、保護者が予定を立てやすいように配慮しています。</li> <li>・節分の行事には、例年有志の保護者が「鬼」の役を引き受けてくれています。運動会では保護者の競技があり、参加してもらっています。しかし保護者会は組織されておらず、保護者の活動に職員は参加していません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の際の子どもの様子などに関する情報提供について、保護者アンケートの回答では「不満」「どちらかといえば不満」の合計が38%となっています。送迎時に子どもの様子を伝える方法を工夫することが期待されます。</li> <li>・園と保護者（組織）が子どもを中心に協力し合えるよう、保護者の自主的な活動が発展するための援助が期待されます。</li> </ul>


### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放、交流保育、育児講座などを開催し、参加者の意見やアンケートなどから保育園に対する要望を把握するように努めています。</li> <li>・青葉区地域子育て支援事業「なしかちゃんひろば」、子育てイベント「青葉台保育のひろば」などの催しに職員を派遣し、育児相談や遊びを提供するなかで、子育て支援ニーズを把握しています。</li> <li>・横浜市公立保育園園長会議、青葉区私立園園長会議、幼保小教育交流事業研</li> </ul>



	<p>研究会などに、園長や年長児担任が参加し、保育園に対する地域のニーズの把握や園が求められている役割などについて検討しています。また、ネットワーク専任保育士との連携も始まり、公立園も含めた幅広い情報の共有を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児講座の内容や地域子育て支援事業への取り組みの方法について、催しの終わった後に担当の職員を中心に年に数回話し合い、次の企画を検討しています。</li> <li>・講師を招いた食育講座のほか、音楽大学の学生による演奏会、劇団の人形劇など、年間を通じて親子で参加・体験できる育児講座を開催し、保護者や地域の子育て中の親子が参加しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅲ－２</b> 保育所の専門性を生かした相談機能 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援に関するサービスについて、ホームページで情報提供しています。また、一時保育、交流保育、育児講座などの年間計画を、地域子育て支援拠点ラフールに掲示しています。</li> <li>・育児相談は、週 2 回の園庭開放日のほか随時対応できる体制をとっていますが、受付実績がありません。</li> <li>・青葉区こども家庭支援課、青葉区福祉保健センター、横浜市北部地域療育センター、横浜市北部地域児童相談所や救急医療機関、園医、警察署、消防など関係機関の一覧表を作成し事務室に掲示しています。</li> <li>・横浜市北部療育センターや青葉区の保健師と情報交換を行っています。保護者が子どもの健康上の問題について園の紹介により区の保健師と相談し、状況の改善に繋がったこともあります。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児講座の参加者や町内会のルートを使って育児相談の情報を提供し、より多くの人に育児サービスに関する知識を提供することが望まれます。</li> </ul>

#### 評価領域Ⅳ 開かれた運営


評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅳ－１</b> 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援の一環として、育児講座（人形劇、お話し会、親子クッキング）や交流保育（夏祭り）に地域の方の参加があります。</li> <li>・今年度初めて年長児が在籍となったこともあり、今までは小学校との連携はありませんでした。２月に初めて年長が近隣の小学校に授業見学に参加します。また、近隣の小学校の体育館で運動会や生活発表会を行う予定です</li> <li>・近隣の家へ園の騒音について尋ねるなどの配慮をしています。消防署のトレーニングルームを借り、運動会のリハーサルを行いました。近隣の園芸店に苗の手配と園芸の指導をお願いしています。</li> <li>・散歩時は、職員から率先して、地域の方に挨拶するように心がけています。</li> <li>・支援児が通園している横浜市地域療育センターあおばに職員が見学に行く、巡回相談を受けるなどの協力関係があります。</li> <li>・日常的に近隣の複数の公園を利用しています。消防署の出初式、青葉公会堂での映画鑑賞会など地域の行事のポスターを掲示し、参加を呼びかけています</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との良好な関係を構築するために、地域の団体・機関と定期的・計画的な交流を行うことが期待されます。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－２</b> 保育所における福祉サービスに関する情報提供 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市こども青少年局、青葉区のホームページ、園のホームページに福祉サービス内容の詳細、料金、給食の体制など園の情報を掲載しています。青葉区子育て支援情報に半月ごとに、園庭開放、育児講座、交流保育、育児相談の情報を掲載しています。</li> <li>・民間の横浜市保育施設情報検索サイト「働くママ応援し隊」に情報提供し、積極的に情報公開しています。</li> <li>・園の基本方針や利用条件・保育内容などについて、パンフレットなどで入園希望者に説明しています。園の方針や重要事項説明書は事務所前に掲示し、見学者に説明しています。</li> <li>・問い合わせの電話には見学可能であることを伝え、可能な限り見学希望に対応</li> </ul>

<p><b>IV-3</b> ボランティア・実習の受け入れ </p>	<p>しています。日程については希望を聞き、見学時は園長と主任が対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中・長期計画でボランティアの受け入れによる気づきやサービスの向上について目標を掲げ、ボランティアの受け入れマニュアルを作成しています。</li> <li>・ボランティアの受け入れ実績がなく、担当者が決まっておらず、基本的考え方や方針を説明したことはありません。</li> <li>・実習生受け入れマニュアルを作成しています。聖徳短期大学より実習生を受け入れ、実習生マニュアルに基づいて園の方針や子どもへの配慮、個人情報保護について実習生に説明しています。受け入れる際は、保護者にも事前に伝え、掲示もしています。</li> <li>・実習生の受け入れの際はオリエンテーションをし、実習内容と注意事項を確認し、服装についても説明しています。実習クラスや責任実習の日程など、実習に合わせてプログラムを工夫し、実習日誌でのやりとりや反省会を設け、主任や担任と話し合う場を設けています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアを受け入れる予定があり<b>ます</b>。ボランティアの受け入れマニュアルに基づいて受け入れ体制を整備することが望まれます。</li> </ul>
---	---



評価領域V 人材育成・援助技術の向上


評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1</b> 職員の人材育成 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、職員から休職・退職予定、今後の業務上の希望などを聞き、入園予定人数や配慮を要する子どもの情報をもとに、設置法人と連絡を取り保育所運営に必要な人材の確保や育成を行っています。</li> <li>・園長は職員と面談し、経験や本人の希望に添って目標を定め、期末には達成の状況や翌年に持ち越したことなどについて話し合い助言しています。</li> <li>・横浜市、青葉区、運営法人本部、その他外部の研修などについて年間計画を立てて実施しています。設置法人では、保育のあり方について広く情報や知識を収集するため海外研修を実施しており、今年度は、当園からも職員が参加しています。</li> <li>・園内研修は、担当の職員が、感染症への対応や大津の交通事故などの散歩途上の危機管理など、適宜テーマを考えて毎月実施しています。</li> <li>・研修受講後は研修報告書を提出し、内容によっては園内報告会を行っています。また、運動遊び、わらべ歌・遊び歌、伴奏法などはクラスで実践して他の職員に伝えていきます。</li> <li>・園長と主任は、研修報告書や受講者の感想などから、新たに必要とする研修や効果が期待できないものや重複しているものを整理して、次年度の研修計画に反映しています。</li> <li>・経験の豊富な常勤職員（主担）と比較的経験の浅い職員を組み合わせるようにして、判断を要する事柄については、主担の職員が関わるようにしています。</li> </ul>
<p><b>V-2</b> 職員の技術の向上 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、毎月の主担会議や職員会議で日常の業務について振り返りを行い、年度末の職員会議で各自の自己評価や問題点について話し合い、共通する課題について取りまとめ、園としての自己評価をしています。</li> <li>・毎月、設置法人の園長が集まり、子どもの自立や成長を促すための保育に向けたテーマを選んで勉強会（SUM）を開いています。</li> <li>・横浜市北部療育センターの巡回訪問時に個別の相談に乗ってもらい、体操教室の専門講師から、マット、鉄棒、跳び箱、運動遊びなどの指導を受けています。</li> <li>・指導計画には、ねらいや目標が掲げられており、職員は保育の実施方法が、計画した保育のねらいに沿っていたか振り返って結果を記入し、園長・主任が確認しています。</li> <li>・個別支援計画では、「好きなことに進んで参加するようになった」「ごめんなさいといえるようになった」など、子どもの育ちや取り組み過程などを重視した保育が出来たかどうかを振り返り評価しています。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所としての自己評価は、保護者の個人面談や運動会など行事の開催に関する事、延長保育など保育サービスに関する事、遊び、食育、自然との親しみに関する事、設備のことなど保育方針や全体的な計画に沿って行われ、園内に掲示し懇談会で説明しています。</li> </ul>
<b>V-3</b> <b>職員のモチベーションの維持</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事規程と給与規程の「職務と職責」に、職階別に必要とされる経験、知識、能力が記載されていますが、人材育成を目的とした計画書やマニュアルはありません。</li> <li>・園長は、人事考課シートに基づき年2回、職員と面談し、能力、実績などについて評価し、設置法人で最終判断した評価結果を本人に伝えています。</li> <li>・園長・主任は、職員会議や面談のほかに日常業務の中で職員の意見を聞き、可能なものから改善を図っています。シフトの決め方についての提案では、園長・主任と職員が話し合い、業務の改善に繋がっています。</li> <li>・人事規程や園内の役割分担表に各自の職務や役割が示されています。園長は、報告・連絡・相談を行うことにより、出来るだけ職位に応じて状況を判断できるように権限の委譲を進めています。</li> <li>・園長は、職員の業務上の希望や意見、悩みについて聞き取り、助言や指導をするとともに、必要に応じて役割分担などの業務に関する配慮もしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人で、理念や基本方針を実現するために必要な保育士育成を目的とした人材育成計画を策定することが期待されます。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>VI-1</b> <b>経営における社会的責任</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、採用時に就業規則や個人情報保護規程などにより順守すべき事柄について研修を受け、職員会議でもツイッターやフェイスブックへのアクセスについて注意喚起しています。また、園長は、施設長会議などで不適切な事例に関する情報が入れば、職員会議で説明し注意しています。</li> <li>・運営状況や財務内容は、設置法人のホームページで詳細が公表されています。本部事務局の内部監査に伴い、各園でも監査人として派遣された税理士による調査が行われ、各勘定内訳の残高や予算管理について確認を受けています。</li> <li>・ごみの分別を徹底し、牛乳パックで玩具を作ったり、照明や空調機器は節電を心がけ、夏場は遮光ネットを使用し、つる性の植物を植え、プランターには野菜を栽培し緑化に努めています。</li> <li>・環境に配慮した取り組みを行っていますが、明文化されたものはありません。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への考え方や取り組みについて、マニュアルや目標などに明文化することが期待されます。</li> </ul>
<b>VI-2</b> <b>施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の理念や基本方針は玄関に掲示し、理念を実現するための取り組み姿勢についてまとめた資質向上マニュアルを職員に配付しています。</li> <li>・理念や基本方針は設置法人共通で、採用時に研修を受けるほか、年2回の面談時にも、園長は職員の理念の理解度や理念に基づいた保育を行っているかなどについて確認しています。</li> <li>・開園以来日が浅いため、運動会や生活発表会について保護者との話し合いやアンケートを重ね、より多くの保護者の参加や協力が得られるよう、開催日時や場所について検討しています。</li> <li>・年間の行事に関する役割分担を決め、繁忙時や応援が必要な場合は、職員同士で協力して取り組んでいます。また、調理は外部委託ですが、食育、食物アレルギーや体調の悪い子どもへの対応などについて、職員と調理士が連携して対応しています。</li> <li>・主任は、業務の状況を見ながら必要に応じてクラスに入り職員の様子を把握して、主担会議や職員会議で情報を共有しながら、業務の負担が偏らないように配</li> </ul>

<p><b>VI-3</b>  <b>効率的な運営</b>  </p>	<p>慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の運営に係る全般的な問題や制度の変更など重要な情報は、設置法人本部から通達があり、主担会議や職員会議で話し合い、問題点や解決に向けて共通の認識を持って取り組んでいます。保育の無償化制度では、職員が勉強会に参加し情報を共有しました。</li> <li>・平成 29 年に開設し、安定軌道に乗せていくことを最優先課題として、5 年間の中・長期計画を策定しています。保育の計画に則った保育の実施、保護者が安心して働けるような細かな配慮や地域との交流などのサービスの向上を目標として掲げています。</li> <li>・単年度の目標として、「待つ保育・寄り添う保育」の実施、ランチルーム計画の実行、ファミリー会の推進を計画しています。</li> <li>・設置法人では、経理や決算業務について税理士などの助言を取り入れるとともに、海外の保育園の視察などを通じて運営の参考にしています。</li> </ul>
--	--

# 利用者家族アンケート

事業所名:あつぷるキッズ青葉台

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数 41名、全保護者39家族を対象とし、回答は29家族からあり、回収率は74%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は97%(満足55%、どちらかといえば満足42%)と高い評価を得ており、否定的な回答は 3%(どちらかといえば不満 3%、不満 0%)でした。

### ◇ 比較的満足度の高い項目(比較的満足度の高い項目(満足とどちらかといえば満足の合計が97%以上)

- 1) 入園前の情報提供…おおむね96%
- 2) 入園前の面接…96%
- 3) おもちゃや教材…97%
- 4) 遊びを通じた関わり…100%
- 5) 給食の献立内容…97%
- 6) 施設設備…97%
- 7) 落ち着いて過ごせる雰囲気…100%
- 8) 園の情報提供…100%
- 9) 行事の開催日や時間帯への配慮…97%

### ◇ 比較的満足度の低い項目(不満とどちらかといえば不満の合計が17%以上)

- 1) 年間の保育や行事についての説明…17%
- 2) ケガに関する保護者への説明…21%
- 3) 送り迎えの際の情報交換…38%

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	7	48	21	24	0



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	75	25	0	0	0

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		見学の受け入れについては	69	21	0	0	10
その他: 見学していない。							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	59	38	3	0	0	0	
その他:							
園の目標や方針についての説明には	48	45	7	0	0	0	
その他:							
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	69	28	3	0	0	0	
その他:							
保育園での1日の過ごし方についての説明には	52	38	10	0	0	0	
その他:							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	59	34	7	0	0	0	
その他:							

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	%	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
		年間の保育や行事についての説明には	42	38	17	0	3
その他:							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	31	52	10	0	7	0	
その他: よくわからない							

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	63	31	3	0	3	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	70	24	3	0	3	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	66	31	3	0	0	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	56	38	3	0	3	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	69	31	0	0	0	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	56	41	3	0	0	0
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	63	34	3	0	0	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	59	31	7	0	3	0
	その他: 子どもの好き嫌いの問題					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	69	28	3	0	0	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	52	28	14	0	6	0
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	52	20	14	0	14	0
	その他: まだ、始めていない。					
お子さんの体調への気配りについて は	69	24	7	0	0	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	58	21	21	0	0	0
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	66	31	0	0	3	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	66	34	0	0	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	63	31	3	0	3	0
	その他:よく知らない					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	55	28	7	3	7	0
	その他:					

0

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	49	45	3	0	3	0
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	69	31	0	0	0	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	52	45	3	0	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	41	21	31	7	0	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	59	21	10	0	10	0
	その他:よく知らない					
保護者からの相談事への対応には	52	41	7	0	0	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	49	24	14	0	10	3
	その他:このような状況になったことはない					

**問7 職員の対応について**

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	56	38	3	0	3	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	60	34	3	0	3	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	41	28	0	0	28	3
	その他:わからない						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	52	38	10	0	0	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	38	52	3	0	7	0
	その他:意見や要望を出したことがない						

**問8 保育園の総合的評価**

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	%	55	42	3	0	0

# 観察方式による利用者本人調査

令和2年1月15日

事業所名：あつぷるキッズ青葉台保育園

## 【1歳児】

### <活動や遊び>青葉台公園

青葉台公園では、葉っぱを集めたり、どんぐりを見つけたりして遊びます。お茶をコップに入れてもらい、飲み干したら、帰り道は行きとは違う子どもがカートに乗って帰ります。帰ってきて「すごく頑張ったね」と保育士から声をかけてもらいました。帰り道で子どもたち同士がトラブルになりそうになったとき、保育士がトラブルから気をそらして回避していました。

### <排泄>

公園から帰ってきて、食事前に、トイレの部屋のおむつ替えのマットの上で保育士にオムツを取り換えてもらっています。「ここまでオムツ脱げたの、すごいね」などと声をかけてもらっています。

### <食事>

スタイを着け、手づかみしたり、スプーンを使ったりして、自分で食べています。子ども2、3人のグループに保育士1人が付き添い、上手く食べ物をすくうことができないときは「(食べ物を)集まれ!しょうか」などと保育士が声をかけてさりげなく手伝ってきれいに食べさせます。上手に食べられたねという意味で「食器がピカリになったね」などと保育士に声をかけてもらおうと、子どもは笑顔になります。

### <午睡>

部屋を暗くし、眠れるような環境を作っています。保育士がそばについているのが分かるよう、スキンシップを取りながら寝かしつけています。鼻や口を布団でふさがないように、顔の向きなどを定期的に注意しています。

## 【2歳児】

### <活動や遊び>

青葉台公園まで歩きます。保育士と手をつないで歩きますが、他の歩行者の邪魔にならないよう、環境によってつなぐ手を変える配慮をしています。公園では、葉っぱを集めてアイス屋さん、お茶屋さんなどごっこ遊びをします。「いらっしやいませ」「イチゴアイスください」「ありがとうございます」地面に棒で絵をかく子、切り株に葉っぱを並べる子、どんぐりを見つけ、それを棒に突



き刺す子など思い思いに遊びます。公園に来ていた親子とも仲良く遊びます。

#### <排泄>

公園でうんちが出ている子どもがいて、レジャーシートを広げて取り換えてもらっています。散歩から帰ってきて、オムツを換える時、保育士に手伝ってもらいながら着替えています。なるべく自分で脱ぐようにしています。

#### <食事>

フォークを使い、自分で食べています。フォークの使い方が気になる子どもについては、保育士が正しい握り方（使いやすい握り方）になるよう、手を添えて指導しています。下膳は自分で行うよう、促しています。アレルギーのある子どもについては、ラップの上にアレルギーの種類を書き、トレイの色を変えて提供しています。食欲が出るように、まず野菜、その次に主菜、パンやごはん、最後にスープを提供してなるべく食事が進むよう順番を工夫しています。

#### <午睡>

部屋を暗くし、寝かしつけています。早く目が覚めてしまった子どもたちは、部屋の外のエントランスにいます。牛乳パックで作ったクッションや電車を持ち出してきたり絵本を見たり、保育士が見守る中で静かに遊んでいます。

### 【3～5 歳児】

#### <散歩>

保育士の注意を聞いた後、2列に並んで青葉台第2公園に向けて出発します。途中の信号のない交差点では、保育士が、車が来てないことを確認するまで子どもたちは道の片側に寄って手をつないで待っています。マンションから出ようとした車が、子どもたちが通り過ぎるのを待ってくれていると、みんな車に向かって手を振りながら「ありがとう」を言いながら通り過ぎます。公園に着くと、先に来ていた他園の子どもたちがいたので、「邪魔にならないよう仲良く遊びましょう」と注意を聞いた後、保育士が凧あげをやってみせると子どもたちは、一斉に凧糸を持って走り始めます。ひとしきりすると男の子が疲れたのか「燃料がなくなった」と言ってベンチに腰をかけて足をぶらぶらさせ始めると、他の子どもも集まってきてみんなで足をぶらぶらさせています。一休みすると、鬼ごっこや泥遊びなど思い思いに時間を過ごします。帰り道では、「今日お昼はパンだよ」「パン大好き」など楽しそうに話しながら、パプリカの歌を元氣よく歌いながら帰りました。

#### <食事>4 歳児中心

みんなで席を決めてテーブルにつきます。今日のメニューはスパゲッティとサラダとミカンです。しばらく食事が進んだところで男の子が「僕、昨日熱が

あったよ」と言うとテーブルの子どもがみんな額に手を当てみます。「とん吉(大吉?)が出たの。おばあちゃんの家近くの神社に初詣に行ったの」と女の子が続けます。保育士が、サラダを食べない男の子の前に座って「競争しよう」と言うと、男の子は「絶対まけないよ」と言いながらすごいスピードで食べてしまいました。お代わりの時間になって、スパゲッティをもらってきてうれしそうに食べている子どもがいます。さっさと食事を終わらせて歯磨きを済ませ絵本を見ている子どもや、遊び疲れたのかベッドに潜り込んでしまった男の子もいます。子どもたちは、食後の時間を自由に過ごしています。

### <遊び>

みんなで新聞遊びをしています。「やきいも、やきいも、じゃんけんぽん」を歌いながら、負けた方が新聞を半分にたたんでゆき、最後まで立っていた人が勝ちです。勝負がつくと次は、新聞を細長く畳んで2本を引っかけ二人でひっぱりっこをして、新聞が破れた方が負けです。保育士は転ぶといけないので座ってやるように注意しますが、子どもたちは始まるとすぐに立ち上がってなかには勢い余って転んでしまう子どももいます。3歳児でうまく出来ない子どもがいて、4、5歳児のお兄ちゃんたちが手本を見せながら遊び方を教えていました。

### <食事>3~5歳児

当番の男の子が、ピアノの伴奏に合わせて手振りを添えて「いただきます」の挨拶をして食事が始まります。今日のメニューは、スープ、サラダ、グラタン、パンです。子どもたちは、自分で書いたイラストをラミネート加工したランチョンマットを敷いて楽しそうに食べています。男の子が、パンを半分にちぎってフォークを使って中にグラタンを詰め「ハンバーガーできた」と言ってみせると周りの子どももまねをします。お代りの時間になると、4、5人が並びます。最後にグラタンのお代わりがなくなり、4人で分けておしまいになりました。時計の針が、保育士が示した食事の終わりの時間になり、順番に歯磨きに行きました。

## 第三者評価を受審して

あっぷるキッズ青葉台  
園長 紺野 由美子

### 【受審の動機】

新規開設から3年目を迎え、これまで園全体で取り組んできた保育内容や運営の在り方などを、外部の評価機関により公正かつ専門的に評価していただくことで、日頃の保育を振り返り、利用してくださる保護者の方々により良い保育を提供していく為の課題を明確に出来ると考え、初めてとなる第三者評価を受審いたしました。

### 【第三者評価を受審して】

初めての受審に不安もありましたが、自己評価での個々や自園の見直しは問題をクリアにしていく上で大変重要であり、新たな気付きが得られる良い機会となりました。

全職員が同時期に「保育」を見直すことで運営方針や理念、今後園の目指していく方向性を再確認することができました。このことで、職員の意識が高まり、保育の質の向上に繋がっていくと感じています。

### 【今後に向けて】

今回、課題として提起していただいた、「理念や基本方針を実現するための人材育成計画書の作成と実行」「育児相談やボランティアの受け入れの推進」「子どもの様子を保護者に伝える努力」は、今後法人内、職員間で十分に検討し改善したいと思います。

地域支援については子育て支援拠点に協力することができるようになり、興味・意欲のある職員も多いので、今後地域に開かれた保育園として常に改善を目指し、質の高い保育を提供していきたいと考えています。

最後に、今回の受審にあたりまして、お忙しい中利用者アンケート調査にご協力くださいました保護者の皆様、丁寧な評価にご尽力頂いた評価機関の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。